

オカピ通信

第0号

こんにちは、オカピです

プロフィールをご紹介します



マレーシアの任地での一コマ。ごみ収集のない村では、プラごみを燃やしていました。

プラスチックごみに関心をもち、2019年〜2020年にかけての青年海外協力隊の経験です。派遣されたマレーシアのサバ州は、森・海ともに美しく、観光客も多く訪れる場所です。しかし、海辺にも

きっかけはマレーシア 青年海外協力隊の活動でプラスチックに関心

プラスチックごみに関心をもち、2019年〜2020年にかけての青年海外協力隊の経験です。派遣されたマレーシアのサバ州は、森・海ともに美しく、観光客も多く訪れる場所です。しかし、海辺にも

道端にもプラスチックごみが散乱しており、ビーチクリーンをするなど、すぐにごみ袋が満杯になるほどでした。▽現地のごみ問題を目の当たりにした矢先に知ったのが、「日本からマレーシアにプラスチックごみを輸出している」という

事実。リサイクル品の原料としてプラスチックくずを輸出している、ということがあります。自国のごみの処理ができていないと、言い難いマレーシアに私の出したプラスチックも送られていたのかもしれない、とそこで気づきました。

▽私達のごみ問題が大きな問題につながっている、と個人が認識することがプラスチック問題解決への第一歩だと思ひ、今の活動をはじめました。

プラスチック仲間求む

オカピはプラスチック加工の経験もものづくりの経験も浅いので、毎日が試行錯誤の連続です。洗浄や色分けなど、プラスチックのりサイクルには膨大な手間もかかります。活動と一緒に進めていく仲間がいたらいいな、と日々願っています。オカピに手を貸してください。オカピにご連絡をお待ちしています。

製作：岡田香織（サキガケ日置市（移）民） ご意見等は okadakaori.p@gmail.com まで。



市内で集めたプラごみから手作業で製作しています。

▽2022年6月より、サキガケ日置市(移)民(鹿児島県日置市の地域おこし協力隊)として活動しています。東京都新宿区出身で、現在は伊集院町に住んでいます。▽主な活動内容は、地域内のプラスチックの活用と、プラスチックの問題に意識を向ける人を増やすこと。「プラスチックの人」として、市内で集めたプラスチックを新たな製品に作り替えたり、プラスチックを素材として使う工作のワークショップを提供したりしています。日本三大砂丘の一つ、吹上浜で集めたプラスチックから

プレシャスプラスチックについて

プラスチックを加工する機械の作り方や製品のアイデアは、「プレシャスプラスチック」で共有されています。これは、地域のプラスチックを価値のある(=プレシャス)な資源として捉えなおそう、と呼び掛ける取り組みで、個人で作れる機械を使って小規模にプラスチックを再生することで、地域ごとのごみ問題解決に取り組もうとしています。必要な知識はオンラインで全て無料公開されており、2023年には世界で60万トンほどのプラスチックが再生されました。オカピも一員として活動しています。詳しくは公式サイト(preciousplastic.com)をご覧ください。

作る製品を特産品にできないかと、日々画策しています。▽製品づくりは全て手作業で、使う機械も多くが手作業。鹿児島でプレシャスプラスチックの取り組みを早くから始めたダイナミックラボで機械づくりを基礎から学び、自作しました。

プラスチックのリサイクルを身近に感じることが、プラスチックの問題を手元に引き寄せて考えることにつながると思っています。